

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 5月24日更新

事務事業名		担い手育成農地集積部会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	富加美 尚悟
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	岡田 晃治
	基本事業	32	後継者の育成			所属班	農地整備班	(内線)	1173
予算科目		会計一般	款6	項1	目12	事業連番10280	法令根拠	成果優先度評価結果	—
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (18 ~ 24 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・県営畑地帯総合整備(担い手育成型)事業の関連ソフト事業である。・上記県営事業を実施した結果、合志地区内で設定した22戸の担い手農家の経営耕地面積が事業完了までに集積増加率が20%を越えることで、農家負担借入金の6分の5が無利子になる事業県営畑地帯総合整備(担い手育成型)事業の関連ソフト事業として平成10年より始まった。・平成13年度にハード事業の受益地見直しを行った際に、担い手として設定している22戸の農家の農地が一部地区外になったため、農地集積計画の見直しを行い、平成19年度に目標を達成済みであるため、平成24年度をもって事業を廃止する。
【業務の流れ】	・年度ごとに担い手の農地集積が進行しているかを確認、会議を開いて進行管理行う。
【主な予算費目】	・6-12-12-1 報償費、6-1-12-11 費用弁償、6-1-12-11 需用費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・堆肥舎建設なども重なり、農地集積が進まないという担い手の一部から話がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	事務の内容と同じ。	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成19年度に事業の目的を達成済みであるため平成24年度をもって事業を廃止する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) → ア:進行管理表の作成 イ:	(単位) h	予算の主な増減の理由 平成19年度に事業の目的を達成済みであるため平成24年度をもって事業を廃止する。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 担い手22戸		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア:担い手農家数 戸 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農地集積が進む。		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア:農地集積面積 ha イ:
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 農地集積面積が増加することで農家負担借入金の6/5が無利子になるため		総トータルコスト 全体計画 ~24年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	h	0	0	0	0				
	イ									
②対象指標	ア	戸	0	0	0	0				
	イ									
③成果指標	ア	ha	0	0	0	0				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	204	199	202	200			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
	人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	2			
		延べ業務時間	時間	70	80	220	100			
(B)人件費計		千円	288	323	888	407				
トータルコスト(A)+(B)		千円	492	522	1,090	607				

事務事業名	担い手育成農地集積部会運営事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度農道・用排水路整備事業と統廃合する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・平成19年度までの事業であり、農地集積を図る余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農地集積はH19年度で達成済みであるため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 次年度農道・用排水路整備事業に統廃合させる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 次年度農道・用排水路整備事業に統廃合させる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・担い手農家として22戸を設定して進めている事業である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公用車のリース料であるため。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

次年度農道・用排水路整備事業と統廃合する。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
削減			維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						